

- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう

男女共同参加の 21世紀社会をめざして

「向日市女性政策21世紀プラン」を推進



昨年、本市が策定した女性政策21世紀プランを具体化するため、「女性政策推進専門家会議」と「女性政策庁内推進会議」が発足し、このほど合同会議が開かれました

設置

女性政策推進専門家会議 女性政策庁内推進会議

女性政策推進専門家会議 学芸学部教授 安枝英神氏
は、学識経験者5人の委員 一方、女性政策庁内推進 引き続いて、各委員の紹介
で構成しており、向日市が 会議は、鈴木助市助役を会 介市の現状報告があり、専
取り組むべき諸課題とその 長に幹部職員20人で構成。 門家会議の各委員からは、
方策について幅広く意見を 女性関係施策の総合的な推 進と庁内関係相互の連絡調
述べることを目的としてい 進と庁内関係相互の連絡調 整を一層強化することを目的
ます。座長には、京都精華大 学人文学部教授 藤枝淳子 氏が、委員には次のみなさ
氏が、委員には次のみなさ んが就任されました。(順 氏が就任されました。(順
不同) 同) 合同会議の開会にあたり 力と意欲のある女性に労働
京都市教育助教授 上 21世紀プラ 「女性政策
杉孝實氏、ウイメンズブッ ンを計画的 推進する
クス編集長 木下明美氏、 ため努力し
奈良文化女子短期大学助教 ため努力し
授 横村久子氏、同志社大 ていききた

この合同会議を皮切りに して、各会議を定期的に開 催し、このプランの総合的 な推進を図っていきます。 なお、プランの期間は、 平成3年度から12年度まで の10年間とし、7年度まで を前期としています。

「男性の行動の場を提供」「女性の行動計画も必要」「向日市らしい特色のある施策を作って」「など男女共同参加の地域社会づくりをめざした活発な意見が出されました。」



商業の活性化に向けて

向日市商業振興基礎調査

後継者問題や大型店への対策など、本市の商業を取りまく環境は、非常に厳しい状況にあります。このような状況のなかで、21世紀に向け、明日の活路を切り開くために、本市が、昨年度から実施してきた「向日市商業振興基礎調査」が、このほどまとまり公表されました。調査は、市内の小売商業の現状を統計資料から分析した「統計からみた向日市の小売商業」、市民の買い物に対する意識や消費行動などの実態を把握するために実施した「市民買い物アンケート調査」さらに、市内の商業の振興と魅力ある商店街の育成について検討した「向日市商業の課題」以上の3つの項目を中心にまとめられています

集積が進む 大型店・沿道型 小売商業の現状

市内商業の最近5年間の推移をみると、年間販売額と売場面積が年々増加する一方で、商店数は減少しています。「魚屋さん」「肉屋さん」「電気屋さん」などが大きく減って、「コンビニエンスストア」や沿道型の中型専門店「スポーツ用品店」「日曜大工用品店」などの立地が進んでいます。市内の店舗の分布は、駅周辺に大型店が立地しているなど、中心部に集積しています。また、国道

57%が市内で買い物

市民が買い物をする場所を買い物金額から推計すると、市内での買い物が約6割、市外が約4割となつていきます。最も多いのが東向日周辺で39.4%、次いで、京都市内中心が24.2%、西向日周辺14.5%、長岡京市6.4%の順となり、市内での合計が57.6%、市外37.9%その他(無店舗販売など)4.6%となつています。

市内で買い物をする理由としては、「近い」「習慣だから」「値段が安い」などをあげています。市外では、「商品の種類・量が豊富」「駐車・駐輪場が整備されている」などが主な理由になつています。日常的な買い物で利用する店は、ショッピングセンター、小売市場、スーパーマーケットの3種類で78%となり、一般商店離れが、若い人を中心に進んでいることを示しています。日常以外の買い物や飲食・レ



合同会議であいさつをする 民秋市長。貴重な意見や提言が続出。

春季 都市緑化推進運動

4月1日～6月30日

校庭の緑・公園の緑・街路樹・家庭の緑
私たちの心を和ませ、生活に潤いを与える都市の緑
都市に残された貴重な緑を守り、育てましょう。

4月23日～26日 みどりの週間

4月29日 みどりの日